

業務の概要

令和4年度 業務実績

【第3期中期計画の主要事業の実施状況】

- ・インターネット・ゲーム依存症治療への対応（令和4年5月治療プログラム開始）
先進病院の取組みを参考に、令和2年度から試験的に患者の受入れを行い、治療評価後、病院独自の治療の枠組みを確立させ、県内で初めて令和4年4月から家族向けの学習プログラムを開始。その後、5月から入院・外来治療プログラムを開始
- ・「子どものこころ総合医療センター」基本計画の策定（令和5年3月）
児童・思春期、青年期精神科医療の充実のための「子どものこころ総合医療センター」の開設に向け、構想の意義や目的、センターに必要な機能や設備等を盛り込んだ基本計画を策定
- ・子どものこころ専門医研修施設群認定（令和4年4月運営開始）
児童・思春期、青年期精神科医療の医師育成を行うため、「子どものこころ専門医研修施設群」の基幹施設として認定。小児科専門医と精神科専門医の双方を基盤領域とする「子どものこころ専門医」を養成するため、県立こども病院、信州大学子どものこころ診療部と連携した運営を開始
- ・訪問看護ステーション「こまほす」の開設（令和4年8月）
精神障がい者が地域の一員として、安心して生活ができるよう専門性の高い精神科訪問看護を提供するため訪問看護ステーション「こまほす」を開設
- ・rTMS（反復経頭蓋磁気刺激療法）の開始（令和4年7月）
「治療抵抗性うつ病」の患者に対し、薬物療法ではない新たな治療の選択肢として、侵襲性の低い治療法となるrTMS（反復経頭蓋磁気刺激療法）を開始（県内2施設目）
- ・看護師の二交代制勤務の本格導入（令和4年8月）
看護職員のワークライフバランス充実のため、令和3年11月より試行的に実施していた病棟部門における二交代制勤務を令和4年8月より本格導入

◆高度・専門医療

（1）精神科救急医療

- ・県内精神科救急の拠点として、24時間365日体制で救急患者の受入れ体制を確保
【救急時間外対応件数：169件】
【緊急措置及び措置入院件数：24件】
- ・措置入院患者に対して、保健所や市町村等と連携し措置入院退院支援計画書を作成
【作成件数：4件】
- ・医療機関の診察時間外に対応している「精神障がい者在宅アセスメントセンター」への相談対応 【相談件数：321件】

（2）外来機能の充実

- ・外来救急やウォークイン患者に対し、緊急性の評価を行い、適切な診療を実施
【救急患者数：94人、うち入院件数57件 入院率60.6%】

(3) 先進的な専門医療の充実

- ・「治療抵抗性うつ病」の患者に対し、薬物療法ではない新たな治療の選択肢として、侵襲性の低い治療法となるrTMS(反復経頭蓋磁気刺激療法)を7月から開始(県内2施設目)。【患者4人に対し、最大6週間の治療を実施】
- ・治療の充実、実施回数増を図り、県内医療機関からの入院患者を受け入れるため、令和4年1月にm-ECTセンターを開設。週2回・1日5人(センター開設前1日3人)まで治療可能とする体制で運営【実施件数：322件】
- ・治療抵抗性や難治性疾患患者に対し、クロザピンの治療を実施

(4) 依存症治療

- ・インターネット・ゲーム依存症治療について、先進病院の取組みを参考に、令和2年度から試験的に患者の受入れを行い、治療評価後、病院独自の治療の枠組みを確立させ、県内で初めて令和4年4月から家族向けの学習プログラムを開始【実施人数：27家族、34人参加】
- ・インターネット・ゲーム依存症の入院・外来治療プログラムを令和4年5月から開始【実施人数：8人(入院3人、外来5人)】
- ・「依存症で悩む家族のためのプログラム(CRAFT)」を実施【参加家族：12人 対象患者：10例(アルコール5例、薬物1例、ギャンブル4例)うち6例が就職や当院の依存症プログラムへの参加】

(5) 児童・思春期、青年期医療

- ・児童・思春期、青年期精神科医療の充実のため、信州大学医学部と連携した「児童・思春期、青年期精神科医療モデル病院」を目指し、開設予定である「子どもどころ総合医療センター」の基本計画を策定。計画には、現状や課題、ニーズを整理し「専門医療、次世代型デイケア、人材育成、支援者支援」の4つの柱を掲げ、センターに必要な入院・外来、その他機能や部門別計画、収支計画を立案
- ・子どもどころ総合医療センターの開設に向け、院内検討チームを中心にセンターの部門別計画、既存病棟の病床転換、後利用等を協議
- ・児童精神科病棟内に看護師を中心とする「検討ユニット」を発足。センター開設後の組織、運営体制を基本計画に反映

(6) 医療観察法による医療

- ・指定入院医療機関及び指定通院医療機関として、厚生労働省が示す医療観察法各種ガイドラインに沿い、対象者10人の社会復帰に向けた治療を実施
- ・外部評価会議、地域連絡会議を開催し、病棟の運営状況や処遇事例、緊急時における関係機関との連携などについて意見交換
- ・全国的に医療観察法の病床が不足しているため、一般病床で医療観察法の対象者を受け入れる特定病床を令和4年3月14日から開始(2人の対象者が入院)

◆地域連携の推進

(1) 認知症医療

- ・認知症疾患医療センターにおいて、認知症の専門相談対応
【専門相談（電話・面接） 1,241 件】
- ・医師、保健師、公認心理師など多職種による「もの忘れ外来」を行い、地域包括支援センター、居宅介護事業所等への紹介など、地域における生活支援を行うため医療・介護の連携を推進
【もの忘れ外来件数：1,700 件（うち鑑別診断件数 104 件）】
- ・駒ヶ根市が実施する「認知症初期集中支援チーム事業」に作業療法士、看護師が参画し、相談応需や訪問支援などを実施

(2) 地域包括ケアシステムの推進

- ・精神科地域包括ケアシステムを推進するため、専門性の高い精神科訪問看護サービスを提供する訪問看護ステーション「こまほす」を開設
【訪問看護件数 2,282 件（再入院率※ 17.9%）】
※全国自治体病院協議会の医療の質の評価公表では、令和4年4月から9月の全国平均は18.1%であり、全国平均以下を維持
- ・開設にあたって地域の市町村、近隣のクリニックを訪問し、開設後の連携について協議した。その結果、クリニックから新たに5人の紹介があった。

(3) 地域の保健・福祉関係機関等との連携の推進

- ・児童相談所との連携強化のため、諏訪及び飯田児童相談所への医師の派遣
- ・市町村、児童相談所、要保護児童対策地域協議会等と連携し、虐待や自殺企図、摂食障害などの緊急入院への対応
【新規入院患者数：50 人、うち緊急・優先入院 21 人】

◆災害医療の提供

- ・DPAT 先遣隊隊員技能維持研修に医師、看護師、公認心理師が参加
- ・令和4年10月に県総合防災訓練参加
- ・長野県 DPAT 研修会に参加し、7人がローカル DPAT として登録

◆新型コロナウイルス感染症への対応

(1) 感染者等の受入れ

- ・精神疾患があり、かつ感染及び感染の疑いがある患者を受入れ
- ・県からの要請を受け、即応病床の増床（2床から8床）に2回対応
- ・上伊那圏域のみならず他圏域の陽性者患者の入院治療を実施
- ・入院患者に対し、入院前に PCR 検査を実施するとともに、診療体制維持のため、感染疑いのあるすべての職員への検査を実施することにより、院内感染の発生を防御
【感染者受入数：11 人（入院日数 延べ 89 日）】
【疑い患者受入数：1 人（入院日数 延べ 3 日）】
【PCR 検査件数：849 件、抗原定性検査件数：339 件】

(2) ワクチン接種の実施

- ・ワクチン接種のため駒ヶ根市及び西駒郷（障害者支援施設）へ医師・看護師を派遣【接種件数：住民 323 件、医療従事者 366 件】

◆医療従事者の養成と専門性の向上

(1) 医療従事者の養成

- ・初期研修医 13 人を受入れ
- ・日本精神神経学会新専門医制度における精神科専攻医を 2 人採用
- ・児童・思春期、青年期精神科医療の医師育成を行うため、小児科専門医と精神科専門医の双方を基盤領域とする「子どものこころ専門医」の養成を目的とする「子どものこころ専門医研修施設群」の基幹施設として認定

(2) 県内医療従事者の技術水準向上への貢献

- ・県内の医療従事者、一般向けにゲーム障害等の出前講座を 12 回実施

◆医療の質の向上

(1) 医療分野における先端技術の活用

- ・患者の預り金に係る「IC カードキャッシュレス管理システム※」の導入を計画し、令和 5 年 4 月からの稼働ができるよう、院内、関連する業者等と調整
- ※入院患者が利用する売店、ランドリー、自動販売機、電話について、現金をチャージした IC カードのみ使用できるようにするシステム

(2) 患者満足度調査の実施

- ・患者満足度調査を実施し、調査結果は病院運営会議にて報告し共有。また、セクションごとに結果の考察と、今後の対応について検討し、患者満足度の向上・維持への取組みを実施

(3) 信州大学等との連携

- ・連携大学院教育による勤務医 2 人の博士号取得に係る研究を実施

◆業務経営の改善及び経営基盤の強化

(1) 職員満足度向上のための取組み

- ・職員への情報共有と院内コミュニケーションの円滑化を目的に、院内広報誌「猫べんちのつぶやき」を 4 回発行
- ・令和 3 年度の組織文化調査及びストレスチェックの結果から、情報共有の改善に向けて各セクションで課題を抽出。院内全体で改善に向けた取組みを実施

(2) 経営改善への取組み

- ・経営改善のための取組みとして、毎朝実施しているベッドコントロール会議にて、月初めに前月の患者数を報告、また、毎日入退院予定後の患者数報告を開始
- ・「病院運営会議だより」を毎月発行し、全職員に対し決定事項及び経営状況を周知

(3) 働き方改革

- 看護職員のワークライフバランス充実のため、令和3年より試行的に実施していた病棟部門における2交代制勤務を令和4年8月から本格導入
- 心身の休養が十分とれるよう、看護部2交代制勤務の実施や振替休日の取得を徹底。また、年次休暇年10日以上の取得を促進

講演・研究発表等の状況

(1) 学会

学会の名称	開催日	場 所	発表者	内 容
子どもの哲学国際学会	R4.8.11	東京都 豊島区	三浦 典子	悩みを抱える子供たちの心とピアサポート
第 62 回 北陸信越薬剤師大会 第 55 回 北陸信越薬剤師学術大会	R4.9.18 ~ R4.9.19	富山県 富山市	五味 和彦 他*	上伊那地域における入院時の薬薬連携に関する取り組みについて
信州精神神経学会	R4.10.16	松本市	吉崎 洋介	摂食障害の入院治療の枠組みとしてのステップアップ表を導入した後の変化について
信州精神神経学会	R4.10.16	松本市	小澤 優太	当院におけるインターネット・ゲーム依存症プログラムの紹介と症例検討
BPCNP/NPPP4 学会合同年会	R4.11.4 ~ R4.11.6	東京都 千代田区	五味 和彦 他*	治療抵抗性統合失調症におけるクロナジン導入遅延が長期予後に及ぼす影響：多施設共同後ろ向きコホート研究
第 63 回日本児童青年精神医学会	R4.11.11	松本市	原田 謙	発達障害の 2 次障害としての反抗挑発症・素行症
第 63 回日本児童青年精神医学会	R4.11.12	松本市	原田 謙	「キレル」子どもに対する多職種による入院治療
こころの安全とケア学会 第 5 回学術集会	R4.12.17	Web	三浦 典子	ピアサポートと地域おこしの共同実践～精神障がい者が自分らしく生きていくための地域づくり「チームピアサポ」モデルの実現に向けて（パネリスト）
日本精神科看護協会 長野県支部 研究発表会	R4.12.17	Web	平塚 理絵	精神科看護師が陰性感情を抱く原因と対処に関する文献検討
長野県精神科病院協会 研修会	R5.2.18	Web	平塚 理絵	精神科看護師が陰性感情を抱く原因と対処に関する文献検討

* 他施設との共同研究

(2) 講演会等

講演会の名称 依頼団体の名称	開催日	場 所	発表者	内 容
< 出前講座 >				
社会を明るくする運動・ 青少年健全育成 伊南 地区推進委員会 駒ヶ根市	R4.7.2	駒ヶ根市	椎名千佳子	ネット・ゲーム依存症の現状と治療プログラムについて
箕輪町精神障がい者家 族会 同上	R4.7.19	Web	山本 和幸	精神科の薬について

講演会の名称 依頼団体の名称	開催日	場 所	発表者	内 容
飯水教研研修会 企画推進委員会	R4.9.3	Web	佐藤みずき	若年層のネット・ゲーム依存の 現状、改善と防止について
精神障がい者地域ケア 推進事業研修会 飯田保健福祉事務所	R4.9.5	Web	田中 晴子 佐藤みずき	ゲーム依存症について～当事者 と家族への支援方法
消防団員セーフティ・ ファーストエイド研修 消防団員等公務災害補 償等共済基金	R4.11.12	長野市	北澤夕紀子	セーフティ・ファーストエイド 研修
こころの健康づくり講 演会 伊那市	R4.11.13	Web	足立 順代	子どものインターネット・ゲー ム依存症
キャリア開発支援プロ グラム 佐久大学	R4.11.18	佐久市	多々良恭子	自分を大切にしよう！ 自己肯定感、自尊感情を高める ために。
下伊那教育会 絵画・箱 庭・カウンセリング研 究会講演会 下伊那教育会	R4.11.27	豊丘村	山田 慎二 佐藤みずき	インターネット・ゲーム依存の 理解と家族支援
ゲートキーパー基礎講座 辰野町	R5.1.17	辰野町	北澤夕紀子	ゲートキーパー基礎講座
こころの健康サポー ター研修会 伊那市	R5.1.20	伊那市	鵜澤 正寛	こころの不調への気づき ～自分・周りの人ができること～
保健医療福祉関係者研 修会 長野市保健所	R5.1.31	Web	佐藤みずき	ネット・ゲーム依存症の概要と 家族支援
こころの健康サポー ター研修会 伊那市	R5.2.14	伊那市	北澤夕紀子	こころの不調への気づき、周り の方ができることについて
<講演会>				
第56回長野県産業安全 衛生大会 長野県労働基準協会連 合会	R4.7.15	駒ヶ根市	埴原 秋児	こころの病気と職場のメンタル ヘルス
第4回長野県子どもの 摂食障害診療研究会 信州大学子どものこ ころ診療部	R4.7.22	松本市	山田 慎二	こころの医療センター駒ヶ根に おける摂食障害と近隣の病院と の連携の試み
ギャンブル依存症セミ ナー in 長野 全国ギャンブル依存症 家族の会	R4.8.14	長野市	犬塚 伸	ギャンブル依存症という病気 ～長野県内のギャンブル依存症 の現状～

講演会の名称 依頼団体の名称	開催日	場 所	発表者	内 容
世界アルツハイマーデー 市民公開講座 北アルプス医療センターあづみ病院	R4.9.19	Web	埴原 秋児	認知症全般、駒ヶ根の地域活動について
令和4年度長野県立こころの医療センター駒ヶ根 ネット・ゲーム依存症公開講座	R4.10.29	Web	足立 順代	ネット・ゲーム依存症について
25周年記念児童虐待防止シンポジウム ながの子どもを虐待から守る会	R4.11.13	長野市	山田 慎二	子どものメディア依存を考える ～デジタル社会の中で私たちはどう生きるのか～
発達障がい診療にかかる研修会 長野県発達障がい診療専門家現地派遣事業事務局	R4.12.3	Web	原田 謙	ネット・ゲーム依存の対応について
令和4年度長野県青少年インターネット適正利用推進協議会	R4.12.23	Web	宮崎 洋	ここ駒ネット・ゲーム依存への取り組みについて
発達障がい診療にかかる研修会 長野県発達障がい診療専門家現地派遣事業事務局	R5.2.18	伊那市	宮崎 洋	小児期から成人期へ：移行支援と課題（パネリスト）
第2回精神障がい者等地域生活部会 上伊那圏域地域自立支援協議会	R5.3.2	Web	須藤 奈美 阿部 佳正	こころの医療センター駒ヶ根における地域移行への取り組み

(3) メディア出演

番組名	放送日	放送局	出演者	内 容
健康ばんざい	R5.1.28	長野放送	犬塚 伸	依存症

(4) 講義

機関名	実施日	場所	講師	科目、内容
信州大学医学部	R4.9.12	Web	眞壁 陽子 小山 美樹	長野県立こころの医療センター駒ヶ根における作業療法の実践について
	R4.9.30	Web	埴原 秋児	老年期の精神医学
	R4.10.28	Web	埴原 秋児	器質性精神障害
長野県看護大学	R4.5.11	Web	小山 美樹	精神科における他職種の役割と連携について

機関名	実施日	場所	講師	科目、内容
長野県看護大学	R4.5.12	Web	須藤 奈美	精神科における他職種の役割と連携について
	R4.7.19	駒ヶ根市	高橋たか子	アルコール依存症の症状とその看護
	R4.9.16	Web	竹内 玲子	病院オリエンテーション 精神看護実習に臨むにあたって
	R4.11.24	Web	花岡 敏彦 佐藤みずき	精神科における他職種の役割と連携について
佐久大学	R4.8.1	佐久市	大蔵 真理	人間関係とコミュニケーション
	R4.11.1	佐久市	高野 隆善	精神看護学概論
長野大学	R4.6.21	上田市	須藤 奈美	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ
信州木曾看護専門学校	R4.9.12	木曾町	大倉 直紀	災害看護・国際看護
	R4.9.14	Web	蓑和 路子	精神医学総論 精神症候学
	R4.9.28	Web	蓑和 路子	気分障害
	R4.10.5	Web	蓑和 路子	統合失調症 精神科における検査・療法
	R4.10.12	木曾町	埴原 秋児	器質性障害1・2(てんかん・認知症を含む)
	R4.10.13	木曾町	三浦 典子	老年援助論Ⅱ
	R4.10.14	木曾町	原田 謙	児童・青年期の障害(摂食障害を含む)
	R4.10.18	木曾町	椎名千佳子	キャリア開発講座「看護専門職として成長を続けるために」
	R4.11.25	木曾町	大蔵 真理	精神看護学概論
	R4.11.25	木曾町	三浦 典子	老年援助論Ⅱ
	R4.12.2	木曾町	黒川めぐみ	精神機能障害論
	R4.12.12	木曾町	犬塚 伸	アルコールおよび精神作用物質関連障害
	R4.12.16	木曾町	原田 謙	神経症圏の障害とストレス関連性障害
R5.1.6	木曾町	高橋たか子	精神看護援助論Ⅰ	
長野県須坂看護専門学校	R4.5.23～ R4.5.30	須坂市	大蔵 真理	精神援助論Ⅱ
	R4.11.8～ R4.11.10	須坂市	熊谷 照美	精神援助論Ⅱ
岡谷市看護専門学校	R4.6.21	岡谷市	高橋たか子	精神援助論Ⅰ
上伊那医師会附属 准看護学院	R4.4.6～ R4.7.13	伊那市	滝澤 直樹 三井由美子	精神看護

機関名	実施日	場所	講師	科目、内容
長野県看護協会	R4.10.6	松本市	高橋たか子	実習指導者養成講習会 「実習指導方法演習 精神看護学実習」

(5) 研究論文

著者名	題名	著書・雑誌名・集録名・ 発行年・出版社名
埴原 秋児	老いにそなえる	老年精神医学雑誌第 33 巻第 9 号 : 881-882, 2022
原田 謙	併存症① 行動障害群 (反抗挑発症・素行症) 他	注意欠陥・多動症-ADHD-の診療・治療ガイドライン第 5 版, 2022 年, じほう
原田 謙	学童期・思春期における 2 次障害への対応	小児科 Vol.63 No11, 2022, 金原出版
三浦 典子, 中野 葉子, 犬塚 伸, 埴原 秋児	実践報告 地域包括ケアシステムにおける認知症にやさしい共生社会に向けた, 駒ヶ根の取り組みについて	老年精神医学雑誌第 33 巻第 12 号 : 1336-1344, 2022, ワールドプランニング
熊谷 照美	神経発達症・心身医学的問題を持つ子どもと家族への看護	ナーシング・グラフィカ 小児看護学③ 第 3 版 : , 2023, メディカ出版

研修医受入れ状況

病院名	受入れ期間	受入れ人数
信州医療センター	R4.8.1 ~ R4.9.2	1
	R4.10.3 ~ R4.10.28	1
	R4.10.31 ~ R4.11.25	1
	R4.11.28 ~ R4.12.28	1
	R5.1.4 ~ R5.1.27	1
伊那中央病院	R4.5.9 ~ R4.6.3	1
	R4.6.6 ~ R4.7.1	1
	R4.7.4 ~ R4.7.29	1
	R4.8.1 ~ R4.8.26	1
	R4.9.5 ~ R4.9.30	1
飯田市立病院	R5.1.30 ~ R5.2.26	1
	R5.2.27 ~ R5.3.26	1
昭和伊南総合病院	R4.4.4 ~ R4.4.28	1
	R4.7.4 ~ R4.7.29	1

実習生受入れ状況 (*インターン等を含む)

(1) 臨床実習

大学名等	区分・学年	受入れ期間	受入れ人数
信州大学医学部医学科	6年	R4.4.4 ~ R4.4.27	1
		R4.5.9 ~ R4.6.2	1
	5年	R4.9.5 ~ R4.10.6	1
		R4.10.11 ~ R4.11.2	1
		R4.11.7 ~ R4.12.1	1
		R4.12.5 ~ R4.12.26	1
		R5.1.4 ~ R5.1.26	1
		R5.1.30 ~ R5.2.22	1

(2) 精神科看護実習

大学名等	区分・学年	受入れ期間	受入れ人数
長野県看護大学	在宅看護実習 4年	R4.5.24 ~ R4.5.25	3
		R4.6.21 ~ R4.6.22	3
	臨床看護実習 3年	R4.9.26 ~ R4.10.7	11
	在宅看護実習 3年	R4.10.11 ~ R4.10.12	3
		R4.11.8 ~ R4.11.9	3
		R4.12.6 ~ R4.12.7	4
信州木曾看護専門学校	臨床看護実習 3年	R4.5.9 ~ R4.5.20	6
		R4.7.1 ~ R4.7.14	11
		R4.11.4 ~ R4.11.17	11
長野県須坂看護 専門学校	臨床看護実習 3年	R4.6.6 ~ R4.6.16	13
		R4.10.18 ~ R4.10.28	10
上伊那医師会附属 准看護学院	臨床看護実習 2年	R4.7.25 ~ R4.8.5	9
一般社団法人いとぐち ファミリーステーション つなぐ	精神科看護研修 助産師	R4.11.14、R4.11.17	2

(3) 薬学生等精神科実習

大学名等	区分・学年	受入れ期間	受入れ人数
京都薬科大学	インターンシップ 5年	R4.10.11 ~ R4.10.18	1
熊本大学	インターンシップ 5年	R5.1.19	1
同志社大学	インターンシップ 5年	R5.1.23	1
		R5.2.9	1
新潟薬科大学	インターンシップ 5年	R5.2.3	1
山陽小野田市立 山口東京理科大学	インターンシップ 5年	R5.2.9	1
国際医療福祉大学	インターンシップ 5年	R5.3.14	1
社会医療法人三栄会 ツカザキ病院	薬剤師研修 薬剤師	R4.12.12 ~ R4.12.13	1

(4) 精神保健福祉士実習

大学名等	区分・学年	受入れ期間	受入れ人数
東京福祉大学	通信課程	R4.9.21 ~ R4.10.7	1
群馬社会福祉専門学校	通信課程	R4.10.3 ~ R4.10.19	1
長野大学	4年	R4.8.5 ~ R4.9.30	1

(5) 心理実習

大学名等	区分・学年	受入れ期間	受入れ人数
聖徳大学	4年	R5.3.1 ~ R5.3.10	1

(6) 管理栄養士実習

大学名等	区分・学年	受入れ期間	受入れ人数
松本大学	3年	R5.2.27 ~ R5.3.10	1

意見箱へのご意見

病棟を含め、院内6か所に意見箱を設置し、積極的かつ継続的に意見等の収集に努めている。令和4年度は合計129件の意見、要望が寄せられた。これは前年度と比較し、43件増加している。

寄せられた意見のうち、実行可能なものは速やかに改善し、部門横断的な改善活動、情報共有を行い、医療の質の向上に取り組んでいる。

(単位：件)

ご意見の内容	元年度	2年度	3年度	4年度
福祉サービスの利用等に関すること	0	0	0	0
障がいや病状に関すること	0	0	1	0
医療に関すること	1	0	3	0
不安の解消・情緒安定に関すること	0	0	1	0
家族関係・人間関係に関すること	0	0	0	0
就労に関すること	0	0	0	0
家計・経済に関すること	0	0	0	0
社会参加・余暇活動に関すること	0	0	0	0
権利擁護に関すること	0	0	0	0
薬に関すること	1	3	0	2
栄養に関すること	27	12	6	5
作業療法に関すること	1	3	3	2
デイケアに関すること	0	3	2	2
訪問看護に関すること	0	0	0	0
接遇に関すること	21	17	15	2
虐待・家庭内暴力に関すること	0	0	0	0
環境整備に関すること	28	25	18	30
治療環境に関すること	37	33	19	12
その他*	55	29	18	74
計	171	125	86	129

*その他の意見については、病状によるものが大半を占めている。

病院運営各種委員会等

令和5年3月31日現在

会議名称	所掌事項
病院運営協議会 *	病院の運営等に関し、外部委員からの提言に関すること
病院運営会議	病院の運営等に関すること
倫理委員会 *	倫理審査に関すること
医療観察法病棟 外部評価会議 *	医療観察法ユニットの運営状況や治療内容の外部評価
医療観察法病棟 倫理会議 *	医療観察法ユニットにおける倫理に関すること
医療観察法病棟 地域連絡会議 *	医療観察法ユニットにおける地域連携の確保に関すること
医療観察法病棟 運営会議	医療観察法ユニットの運営状況に関すること
医療観察法病棟 治療評価会議	医療観察法ユニットにおける治療効果の評価に関すること

* 外部委員あり

委員会名称	所掌事項
安全衛生委員会	<p>目的： 職場の安全衛生に関すること</p> <p>活動実績： (毎月開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> 働きやすい職場づくりの推進 超過勤務縮減の取組 職員相談体制の充実による心身の健康増進 5S活動の促進及び定着、公務災害の防止 交通安全の推進
医療安全管理委員会	<p>目的： 医療安全に関すること</p> <p>活動実績： (毎月開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期的な委員会開催による院内医療安全管理体制の確保 医療事故等の検証による再発防止の徹底 医療安全職員研修の実施による安全意識の啓発
医療ガス安全管理委員会	<p>目的： 医療ガスの管理・運用に関すること</p> <p>活動実績： (年1回開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療ガス設備日常点検による安全の確保 安全の確保の為、外部委託による医療ガス定期点検を実施 医療ガス職員研修の実施による安全意識の啓発
院内感染対策委員会	<p>目的： 感染対策に関すること</p> <p>活動実績： (毎月開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染対策研修会の出席率向上 感染対策に関する理解度の促進 院内ラウンドの実施 感染対策情報の迅速な提供 院内感染対策マニュアルの改訂 新型コロナウイルスワクチン接種実施
栄養委員会	<p>目的： 入院患者の栄養管理に関すること</p> <p>活動実績： (年3回開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者の食事満足度の向上策について検討 NST 介入症例の紹介等による栄養サポート体制の強化 NST 介入につなげる方法の検討
栄養サポート委員会	<p>目的： 栄養リスクのある患者の早期抽出及びモニタリングの実践に関すること</p> <p>活動実績： (毎月開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> 栄養サポートが必要な患者の早期抽出とモニタリング リフィーディング症候群チェックリストの作成 栄養サポートに関する研修会の開催 (1回) NST ラウンドの実施 (新規 60名、延べ 428人)

施設の概要

業務の概要

治療の概要

各種データ・資料

経営の状況

付録

委員会名称	所掌事項
患者家族相談窓口 月例会議	<p>目 的： 苦情、相談等に関する事</p> <p>活動実績： ・相談等の内容及び担当部署の対応状況の確認 (毎月開催) ・苦情、意見等の分析及び改善活動の効果検証 ・困難事例に対する対応協議</p>
教育研修委員会	<p>目 的： 職員研修及び公開講座・出前講座に関する事</p> <p>活動実績： ・教育研修に係る PDCA サイクルの確実な運用 (年 4 回開催) ・研究研修費の効果的な予算執行、管理 ・職員が活躍できる機会の積極的な提供 (院内研究発表会などの開催) ・精神科研修・研究センターとの連携</p>
クリニカルパス委員会	<p>目 的： クリニカルパスの作成・管理・運用に関する事</p> <p>活動実績： ・患者パスの利用促進 (隔月開催) ・クリニカルパス利用促進のための啓発、広報活動及び調 査検討、企画立案</p>
クロザリル治療委員会	<p>目 的： クロザリルを用いた適正な治療の推進に関する事</p> <p>活動実績： クロザリルの治療申請について、4 件の検討を実施 (随時開催)</p>
行動制限最小化委員会	<p>目 的： 入院患者の隔離・拘束に関する事</p> <p>活動実績： ・院内における行動制限状況の適切性、最小化のための検 (毎月開催) 討会議を定期開催 ・全職員を対象とした精神保健福祉法、隔離・拘束の早期 解除や、危機予防のための介入技術に関する研修会を実施</p>
サービス向上委員会	<p>目 的： 職員の接遇に関する事</p> <p>活動実績： ・全職員を対象とした接遇標語や研修による啓発活動 (年 3 回開催) ・院内掲示物ラウンドの実施</p>
事後審査委員会	<p>目 的： 特定医師による特例措置の妥当性検証に関する事</p> <p>活動実績： 特定医師による措置について 1 件の事後審査を実施 (随時開催)</p>
児童運営委員会	<p>目 的： 児童精神科治療に係る運営方針に関する事</p> <p>活動実績： 外来、病棟における運営方針の検討、見直し (毎月開催)</p>
児童虐待対策委員会	<p>目 的： 児童虐待への対応に関する事</p> <p>活動実績： ・関係機関との迅速で適切な連携 (毎月開催) ・児童虐待ケース進行管理による継続的な支援を行う体制 づくり ・子ども虐待に対する院内研修の実施</p>
医療情報システム 管理委員会	<p>目 的： システム管理に関する事</p> <p>活動実績： ・電子カルテ、オーダリングシステムの円滑な運用 (随時開催) ・院内の適正な情報化推進</p>

委員会名称	所掌事項
褥瘡対策委員会	<p>目的： 入院患者の褥瘡予防と対応に関すること</p> <p>活動実績： ・褥瘡の予防、適切な治療の実施 (毎月開催) ・院内の褥瘡対策の体制整備 ・褥瘡予防研修会の実施</p>
診療情報管理委員会	<p>目的： カルテ記載・管理に関すること</p> <p>活動実績： ・診療録の量的、質的監査の実施 (年2回開催) ・災害時カルテの検討</p>
診療情報提供委員会	<p>目的： 診療情報の開示に関すること</p> <p>活動実績： 診療情報開示請求件数 16 件 (随時開催)</p>
治験受託検討委員会	<p>目的： 治験受託の決定と適正な執行に関すること</p> <p>活動実績： 新規治験の申し込みに対して円滑な受託可否を検討 (随時開催)</p>
防災対策委員会	<p>目的： 防災に関すること</p> <p>活動実績： ・前回訓練の反省を生かした訓練の実施 (年1回開催) ・訓練結果を踏まえた防災研修会の実施</p>
薬事委員会	<p>目的： 医薬品の採用・廃止に関すること</p> <p>活動実績： ・適切な後発品採用の実施 (年2回開催) ・向精神薬等の適正な使用の推進</p>
QM委員会	<p>目的： 医療の質の向上に関すること</p> <p>活動実績： ・病院機能評価受審に係る準備 (随時開催) ・内部監査員による院内ラウンドの実施 ・ケアプロセス調査の実施2件</p>

